〔イマゾスルフロン・ピリミノバックメチル・ブロモブチド粒剤〕

オサキニ®１キロ粒剤

農林水産省登録　第２３００１号
性　　状：類白色細粒
毒　　性：普通物
危 険 物：—
有効年限：５　年
包　　装：１kg×12袋、４kg×４袋、10kg×１袋

有効成分：イマゾスルフロン …… 0.90%　ピリミノバックメチル ……0.60%
ブロモブチド ……9.0%

除草剤分類	2,2,30

農薬ガイドの適用表内（＊）および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご参照ください。
本剤の最新情報：こちらの２次元バーコードを読み取ると i-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ３葉期 ただし、移植後30日まで	1kg	本　　剤：１回 イマゾスルフロン：２回 ピリミノバックメチル：２回 ブロモブチド：２回	湛水散布
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	は種時			は種同時散布機で施用
		は種直後～ノビエ３葉期 ただし、収穫90日前まで			湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人ヘリコプターによる散布

⚠効果・薬害等の注意

●主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	３葉期まで	ヒルムシロ	発生期まで
ウリカワ	３葉期まで	セリ	再生前から再生始期まで
ミズガヤツリ	３葉期まで	アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで
ヘラオモダカ	２葉期まで		

○本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの３葉期までに時期を失しないように使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するように注意する。

●散布の際は、水の出入りを止めて、まきむらが生じないように均一に散布する。

●散布後７日間は落水、かけ流しはしない。また、入水は静かにおこなう。

●代かき及び均平化作業はていねいにおこなう。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなう。

●以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。
○砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が２㎝／日以上）。

○軟弱な苗を移植した水田。

●著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。

●乾田直播の場合は、入水後しばらくは漏水が多く、効果不足の出るおそれがあるので漏水が少なくなってから散布する。

●本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守る。

○散布は散布機種の散布基準に従って実施する。

○専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。

○事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。

○散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から５m離れた位置からほ場内に散布する。

○水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。

●散布田の田面水を他の作物に灌水しない。

●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意する。

●いぐさ栽培予定水田では使用しない。

●本剤は生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いては種前または移植前に防除してから使用する。

●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠安全使用上の注意

●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

●直播水稲に適した除草剤です。

●は種時～ノビエ３葉期まで長期間散布できます。

●ＳＵ抵抗性雑草（ホタルイ、コナギ）をはじめ広範囲の雑草に効きます。

●通常の水管理で使用できます。(は種～出芽期の水管理は湛水直播・乾田直播によって異なります)